

巡回展「キモかわすごい！海の骨なし動物の世界」実施報告書

記入日: 令和 8 年 9 月 8 日

館名・団体名	多摩六都科学館
部署・担当者氏名	理工グループ 佐々木

1. 開催概要

開催期間

令和 8 年 7 月 18 日(土) ～ 令和 8 年 8 月 31 日(月)

開催日数: 44 日(休館日を除いた日数をご記入ください)

展示会場広さ (展示会場平面図があれば、別途添付してください)

約 110 m²

開催の様子 (写真)

【巡回展会場風景】

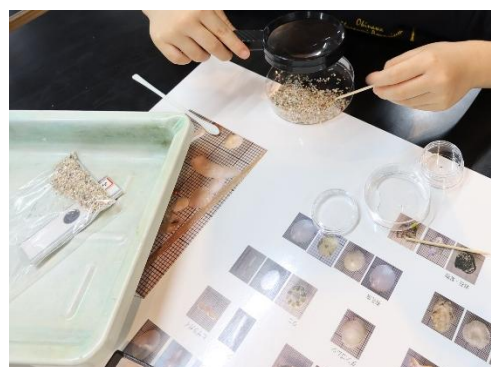




【関連イベント①:これも動物なの!? 海の骨なしどうぶつたちの不思議な世界】



【関連イベント②:よ〜く見ると貝だらけ!? 発見！砂の中から微小貝】



【関連イベント③:じっくり観察！ウニ・ヒトデ】



2. 開催にあたって

開催までのながれ（設営・撤去における対応スタッフ数）

令和 8 年 7 月 2 日	展示物搬入
令和 8 年 7 月 3 日 ～ 令和 8 年 7 月 17 日	設営（ 2 人）
令和 8 年 7 月 18 日 ～ 令和 8 年 8 月 31 日	開催
令和 8 年 9 月 1 日 ～ 令和 8 年 9 月 2 日	撤去（ 2 人）
令和 8 年 9 月 2 日	展示物搬出

内容および運営上の工夫があればご記入ください

- ・当館が所有する海生無脊椎動物の標本(現生・化石)を展示した。また、常設展示室にある無脊椎動物を紹介するパネルも併せて掲示し、企画展から常設展示室への回遊を促した。
- ・当館オリジナルの無脊椎動物ぬりえを制作し、ワークシートと併せて設置した。ぬりえは子どもから大人まで幅広い年齢層に人気があり、図鑑を見ながら生き物の特徴を確認し、細部まで丁寧に色を塗る様子も見られた。
- ・骨のパネルを持って撮影することで、解説パネルに入りこんだような写真を撮ることができるフォトスポットを設置した。
- ・次回の春季企画展(テーマ:貝)の広報も兼ねて、景品付きリリーススタンプラリーを実施した。
- ・クラゲとホヤの展示ケースには、標本をより観察しやすくするため、倍率の異なる2種類のレンズ付きルーペを用意した。また、来館者がルーペを使用する際にケースを傷つけることを防ぐため、保護用フレームを取り付けた。
- ・関連イベントとして、貴館の並河 洋氏および葛西臨海水族園の田中隼人氏を講師に招き、それぞれ講演会を実施した。また、当館スタッフによる関連イベントも実施した。

展示物に対する来場者の反応はどうか

- ・夏休みの宿題や調べ学習のために来館し、展示をじっくり観察しながら、多くのメモを取る子どもの姿が見られた。ワークシートやぬりえも人気があり、時間をかけて取り組んだ後、再度展示物を見に行く子どもも多く見られた。
- ・ウミウシのフィギュアは「かわいい、カラフルできれい」という反応が多く、来館者の興味を引いていた。また、ムカデミノウミウシの実物標本を見て「小さい」と驚く方や、「本物のウミウシを初

めて見た」と話しながら、じっくり観察する方も多く見られた。また、刺胞を食べて自分の武器にすること、ヒドラが一見植物なのにクラゲやイソギンチャクのなかまということに驚く人が多かった。

・クラゲの生活史の展示は特に人気があり、中でもエフィラについて「お花みたいでかわいい」という感想が多く聞かれた。

・大人の来館者には、アニサキスや食用に関する標本への関心が高く、興味深そうに観察する姿が多く見られた。

・34 門の解説資料は、子どもから大人まで多くの来館者が手に取っていた。子どもはイラストを見ながら「変な生きもの！」などと楽しそうに反応する姿が見られた一方、大人は裏面の詳しい情報を読み込むなど、年齢によって異なる楽しみ方をしている様子が見られた。(小さい子ども、図示されている生物がどこにいるか探そうとする様子も見られました)

3. 広報について

広報方法(チラシ等のデータがあれば、別途添付してください)

- ・ロクトニュース(当館のチラシ) ・当館ホームページ、SNS(X、Instagram)
- ・PR TIMES(プレスリリース) ・市報

*この報告書やチラシ、写真は国立科学博物館の web にて紹介させていただきます。